

慶応義塾大学宇宙法センター 第5回宇宙法シンポジウム
「宇宙分野における国際協カメカニズム」

日本の宇宙外交

2014年 9月 3日

外務省

総合外交政策局宇宙室長 今福孝男

1 宇宙外交に係る昨今の状況

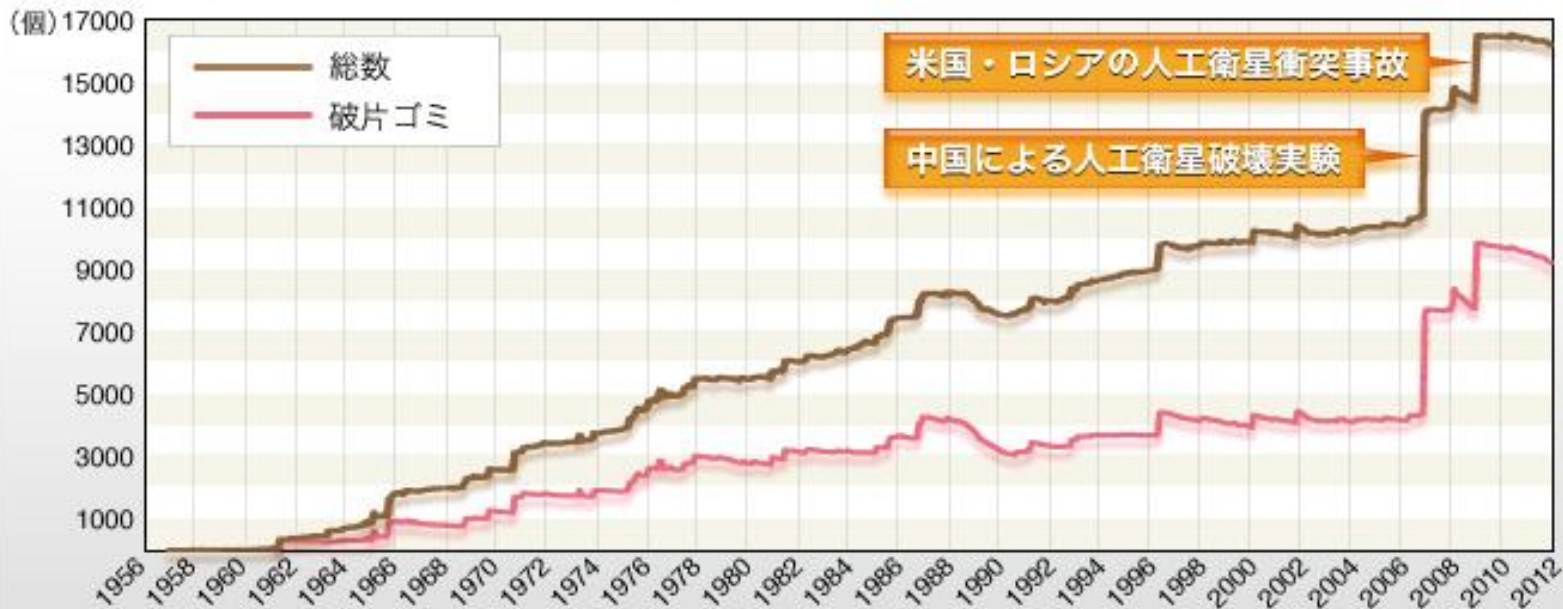
●宇宙**利用国**の**拡大**及び宇宙**技術**の**進歩**

●宇宙空間の**脆弱性**と**リスク**の**増大**

●民生・安全保障の両分野における**利用の拡大**

●外務省では、外交・安全保障上の宇宙の重要性が高まる中、民生・安全保障両分野における宇宙を巡る課題に積極的に取り組むため、2012年4月5日付けで総合外交政策局に宇宙室を設置。

地球軌道上の人工物体数推移



2 具体的取組

(1) 宇宙空間活用に関する国際的な規範づくり (民生・安全保障両分野)

- 宇宙活動に関する国際行動規範
- 国連宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS) における宇宙活動の長期的持続可能性

(2) 宇宙をめぐる国際協力の推進

- ODA等も活用しつつ、我が国の衛星・地上設備を新興国に展開し新たな市場を創出。
- 地球規模課題への取組に貢献 (気候変動、防災、森林保全、資源・エネルギー等)。
- バイ・マルチでの国際協力及び対話の推進**

(3) 宇宙安全保障の確保



国際宇宙探査フォーラム (ISEF)
(写真提供:文部科学省)



国連宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS)



国際宇宙ステーション (ISS)
(写真提供:JAXA)

国連総会第4委員会

国連宇宙空間平和利用委員会(UNCOPUOS)

16議題

ウセディク議長(アクジェリア)

事務局:国連宇宙部(OOSA)
ディピッポ部長
ヘッドマン課長
土井課長

科学技術小委員会

17議題

ボス議長(ハンガリー)

法律小委員会

15議題

シュローゲル議長(ドイツ)

全体WG

ダドワール議長(印)

原子力電源利用(NPS)WG

ハービソン議長(英)

宇宙活動の長期的持続可能性WG

マルチネス議長(南ア)

地球近傍天体(NEO)WG

※WG最終報告書が提出され、定例議題として審議。

持続可能な開発のための宇宙の持続可能な利用EG

デブリ・宇宙運用・宇宙状況監視ツールEG

宇宙天気EG

規制体系・新規参入EG

宇宙5条約のステータスWG

マイヨンス議長(ベルギー)

宇宙空間の定義WG

モンセラ議長(ブラジル)

国際メカニズムWG

青木議長(日本)

国内法制WG

※WG最終報告書が提出され、定例議題として審議。